



# 日本スーパーマーケット協会

## 平成26年5月 マンスリー レポート

集計企業数 60 社

### ① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	52,285,298 万円	100.0%	103.7% (99.4%)	50,556,173 万円	101.0% (97.1%)
食 料 品	44,185,370 万円	84.5% (84.6%)	105.1% (100.4%)	42,713,326 万円	102.0% (97.7%)
農 産	6,663,638 万円	12.7% (12.8%)	107.3% (104.2%)	6,478,438 万円	104.7% (101.2%)
水 産	4,331,132 万円	8.3% (8.5%)	105.6% (102.3%)	4,186,409 万円	102.7% (99.1%)
畜 産	5,369,032 万円	10.3% (10.2%)	111.9% (106.8%)	5,195,967 万円	108.7% (103.8%)
惣 菜	4,929,303 万円	9.4% (9.5%)	107.2% (105.4%)	4,756,412 万円	104.1% (101.9%)
日配食品	10,021,835 万円	19.2% (19.0%)	104.8% (101.0%)	9,665,864 万円	102.3% (98.6%)
加工食品	12,870,430 万円	24.6% (24.6%)	100.7% (93.6%)	12,430,236 万円	97.2% (91.4%)
生活関連	3,209,920 万円	6.2% (6.4%)	94.7% (92.9%)	3,122,622 万円	93.7% (92.0%)
衣 料 品	1,792,037 万円	3.4% (3.1%)	94.9% (93.7%)	1,750,972 万円	94.8% (93.6%)
そ の 他	3,097,971 万円	5.9% (5.9%)	99.6% (95.8%)	2,969,253 万円	98.9% (95.2%)

### ② 数 値

全店総売上高	52,285,298 万円	店 舗 数	4,709 店舗
総売場面積	9,207,327.0 m <sup>2</sup>	総従業員数	250,878 人

店舗平均月商	11,103.3 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,789.7 円 (100.9%)
月間m <sup>2</sup> 売上(前月)	5.7 万円 (5.5 万円)	平均店舗面積	1,955.3 m <sup>2</sup>
月間坪売上(前月)	18.8 万円 (18.0 万円)	パート比率(前月)	77.4% (77.8%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

## 《 全体概況 》

- ・初夏らしい陽気で週末は天候に恵まれた日が続いた。月後半には気温もあがり涼味系商品の動向が良かった。
- ・また昨年に比べて土曜日が1日多く、特に一部商品を除くと中旬以降は消費税増税の反動減も見受けられなくなり好調に推移した。
- ・野菜、果物、畜産の相場高も影響、売上増加に寄与した。

## 《 商品動向 》

### ○ 農 産

- ・野菜、果物とも全般的に相場高く単価アップ。月後半には気温上昇（蒸し暑さ）から涼味野菜（みょうが等）、サラダ系野菜などが好調に推移。
- ・旬の果物であるアメリカンチェリーが天候の影響で不作かつ円安も加わり売上不振。一方、西瓜、カットフルーツなどは好調に推移。

### ○ 水 産

- ・季節の魚であるさわら、かつおが好調。  
かつおは「今朝水揚げかつお」（直送販売）の取り組みの強化で売上伸長。
- ・輸入鮭は相場高の影響で不振。

### ○ 畜 産

- ・畜産は全般的に好調に推移。
- ・ゴールデンウィーク（GW）が天候に恵まれたこともあり焼き肉商材が伸長。  
簡便商材の味付け肉も好調。
- ・豚肉の相場高で単価アップ。一部販売点数が減少するもカバーし昨年超え。

### ○ 惣 菜

- ・GWなどのイベントを控えて創意工夫（新商材の投入等）の結果もあり好調。
- ・気温があがったことから、麺セット弁当（天井&うどん等）、冷やし中華、ざるそば、うどんなどが伸長。
- ・一方、原材料の高騰が続く見込みから利益面では厳しくなる可能性あり。

○ 日配・加工食品

- ・日配食品は消費税増税の反動減はなくなり大半のカテゴリーが堅調。
- ・健康志向もありヨーグルト、乳酸菌飲料が好調。気温の上昇とともにアイス、飲料が伸長。
- ・豆腐は堅調だが、納豆は今年のテレビ報道の反動もあり苦戦。
- ・加工食品は中旬まで消費税増税の反動が残り、調味料などが苦戦。米も単価ダウンで苦戦。
- ・缶詰は好調。

○ 「ゴールデン・ウイーク後半」について

- ・安、近、短のGWとして近場で過ごす傾向から、バーベキュー商材や焼き肉商材の動きが良かった。菓子も好調。
- ・プレミアムビールの売上も順調に推移。

○ 「子供の日、母の日」について

- ・手巻き寿司、カレーはマンネリ傾向、メニューの多様化（トッピング、つけカレー等）により需要拡大を狙う。
- ・カーネーション不調だがアレンジメントでカバー。

○ 「消費税増税後の動向」について

- ・消費税増税から2ヶ月が経過したこともあり、一部を除いて反動減は納まった。
- ・レジなどでの問い合わせは徐々に少なくなっている。  
一方、価格表示については、本体価格と税込価格の2つの価格が表示されていることで、かえって解りにくいとの声も寄せられている。

以上